

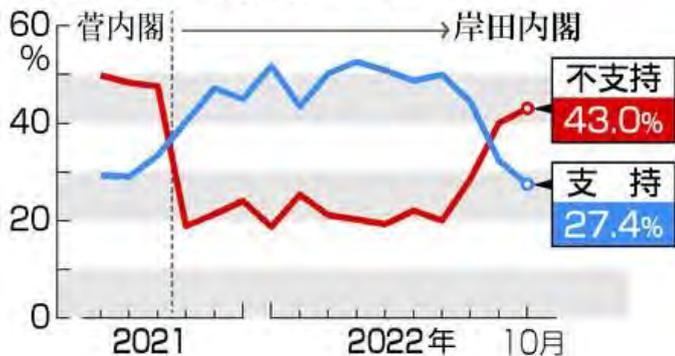
2022年10月13日

世論調査（時事通信）

内閣支持続落27% 初の3割割れ、不支持43%—時事世論調査

時事通信 2022年10月13日 19時33分

内閣支持率の推移（時事通信社調べ）



【図解】内閣支持率の推移

政党支持率の推移（時事通信社調べ）

政党	10月	9月	8月	政党	10月	9月	8月
自民党	23.5	22.4	24.3	国民民主党	1.1	1.3	1.3
立憲民主党	3.6	4.0	4.8	れいわ新選組	0.7	0.7	1.2
日本維新の会	4.0	3.4	4.5	社民党	0.4	0.2	0.2
公明党	2.9	3.4	2.8	NHK党	0.3	0.2	0.4
共産党	1.9	2.3	1.8	参政党	0.6	0.7	0.6
支持なし	58.9	59.1	56.3				



時事通信が7～10日に実施した10月の世論調査で、岸田内閣の支持率は、政権発足後最低だった前月と比べ4.9ポイント減り27.4%となった。政権維持の「危険水域」とされる20%台に落ち込んだのは初めて。菅内閣で最低だった2021年8月の29.0%も下回った。

不支持率は43.0%（前月比3.0ポイント増）。2カ月連続で不支持が支持を上回り、その差は前回の7.7ポイントから15.6ポイントに拡大した。世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と自民党の関係、安倍晋三元首相の国葬実施、物価高騰などをめぐり、国民の根強い批判が背景にあるとみられる。

岸田文雄首相は4日で就任から1年を迎えた。この間の仕事ぶりを尋ねたところ、「あまり評価しない」45.8%と「まったく評価しない」13.9%を合わせ、6割弱が否定的な見方を示した。「ある程度評価する」は32.1%、「大いに評価する」は1.6%だった。

旧統一教会の問題で、首相の対応を「評価しない」は67.6%（前月比4.9ポイント増）となり、「評価する」の7.4%（同5ポイント減）を大きく上回った。支持政党別に見ると、自民支持層でも「評価しない」が60.4%を占めた。

9月27日の国葬実施をめぐっては、「よくなかった」が49.5%、「よかった」が24.4%だった。自民支持層は「よかった」が47.7%、「よくなかった」が28.2%だったものの、

他の政党支持層と無党派層はいずれも「よくなかった」の方が多かった。

内閣を支持する理由（複数回答）は、「他に適当な人がいない」11.5%、「首相を信頼する」6.0%、「首相の属する党を支持している」5.1%の順だった。支持しない理由（同）は、「期待が持てない」23.9%、「リーダーシップがない」17.1%、「政策がだめ」15.2%。

政党支持率は、自民党23.5%（前月比1.1ポイント増）、日本維新の会4.0%（同0.6ポイント増）、立憲民主党3.6%（同0.4ポイント減）。以下、公明党2.9%、共産党1.9%、国民民主党1.1%、れいわ新選組0.7%、参政党0.6%、社民党0.4%、NHK党0.3%だった。「支持政党なし」は58.9%。

調査は全国18歳以上の男女2000人を対象に個別面接方式で実施。有効回収率は63.3%。

物価高対応「評価しない」64% 時事世論調査

時事通信 2022年10月13日 21時08分



量販店に積み上げられたビール類と10月の値上げ幅を示す吊り下げ広告＝9月17日、東京都大田区

時事通信が7～10日に実施した10月の世論調査で物価高騰への政府の対応について尋ねたところ、「評価しない」が64.8%で「評価する」の11.4%を大きく上回った。「どちらとも言えない・分からない」は23.8%。

前回同じ質問をしたのは8月の調査で、「評価しない」58.6%、「評価する」15.1%だった。5月以降、評価は低下傾向にある。

一方、政府の新型コロナウイルス対応について10月調査では、「評価する」が9月に比べて2.3ポイント増の38.1%となった。「評価しない」は3.2ポイント減の33.6%。

10月調査は全国18歳以上の男女2000人を対象に個別面接方式で行い、有効回収率は63.3%。